



平塚盲学校での寄付贈呈式。左から古屋さん、柴山校長、中島さん

南足柄市で生まれた早咲きの桜「春めき」を活用した視覚障害者の支援などに取り組む目的にした一般財団法人「春めき財団」（古屋・中島）は、独自事業としてセレモニービデオの製作を行っている。

製作の必要経費を除い

た全額を視覚障害者支

援の寄付金にする取り

組みで、先月下旬には

県立平塚盲学校（柴山

洋子校長、平塚市）へ

50万円を寄付した。

セレモニービデオは

理事長の古屋さん（67）

が考案した、依頼人の

半生を歌と映像で振り

返る取り組み。高齢者

の人に社会貢献をして

いただければといふ発

想から生まれた。

古屋さんが依頼者か

ら半生を聞き取るなど

して、オリジナルの歌

を作詞作曲。同じビデオ

の映像は主にドローン

を使い、依頼者の生ま

れ故郷やゆかりのある

土地・建物などを直接

訪ね撮影する。歌唱は

ギタリストの平野融さ

ん、ドローン撮影は中

の寄付金をあてた。

古屋さんは依頼者か

ら半生を聞き取るなど

して、オリジナルの歌

を作詞作曲。同じビデオ

の映像は主にドローン

を使い、依頼者の生ま

れ故郷やゆかりのある

土地・建物などを直接

訪ね撮影する。歌唱は

ギタリストの平野融さ

ん、ドローン撮影は中

の寄付金をあてた。

古屋さんは同じビデオ

納品したという。

先月下旬の寄付で

は、鈴廣蒲鉾本店取締

役会長の鈴木智恵子さ

んの寄付金をあてた。

半生歌と映像にセレモニー 視覚障害者支援へつなげる

島房勇さんがそれぞれ担当

同ビデオの制作費は約100万円からと高

額だが、経費を除いた金額はすべて寄付金とする。希望者はビデオや同財団の趣旨を理解した上で製作を依頼する流れ。

ビデオは自身の半生

を振り返るアイテムと

して活用でき、社会貢

献活動にもつながる

と、関心を示す人が見

られるという。これま

でモデルを含め5人ほ

どのビデオを製作し

た。

直近ではエレベーター

ー保守点検で国内最大

手のエス・イー・シー

エレベーターの鈴木孝

夫代表取締役会長から

依頼された同じビデオを

う。

古屋さんは同じビデオ

について「その人の人

生がずっと残ってい

く。ご家族などにも喜

ばれるものになるので

古屋さんは元南足柄市の幹部職員。鈴木さんは春めきを通じ市職員時代から20年来の親交がある。

吉

学校は予算的に

厳しく必要な物品を

購入できないという話

も聞く。ビデオの製作を通じ多くの寄付をし

ていきた

と抱負を語った。

春めきは古屋さんが

古屋さん

は

と話す。葬儀・告別式や個人的な催しなどでの活用も考えられ